

What is the key to the peace?
～平和のために、私達ができること～

【実践者】

氏名	高橋 真由美	学校名	福島県立福島南高等学校
担当教科等	英語	対象学年（人数）	1年 3組（40名）
実践年月日もしくは期間（時数）		令和5年 9月 ～ 12月（ 7 時間）	

【実践概要】

1. 単元(活動) Lesson5 A Journey to Peace(平和への旅)、総合的な学習の時間		
2. 単元目標： ルワンダ共和国で起きた大虐殺を生き延びた女性、マリールイズに関する英文を読み、平和や命の尊さについて理解する。世界では今なお、争いや紛争が絶え間ないが、その根本にあるものは何かを考えさせる。 関連する学習指導要領上の目標： 新学習指導要領では「持続可能な社会の創り手」を育むことが教育の重要な目的の一つとして掲げられている。したがって、英語教育とグローバル教育(総合的な学習の時間)を連動させ、平和・人権・環境問題等のグローバルイシューへの関心を高められるよう工夫することで、地球市民意識を育てていきたい。		
3. 単元の評価規準	①知識及び技能	知覚動詞・使役動詞が伴う表現を理解し、それらを実際のコミュニケーションに活用できる技能を身につけている。
	②思考力、判断力、表現力等	本文の内容に対する意見や感想を、適切に表現することができる。 ダイヤモンドランキングを通して、平和のために必要なことについて自分の考えを述べることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	ペアやグループワークを通して、平和・教育のテーマに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

4. 単元設定の理由・単元の意義	【単元設定の理由・意義】 本時は、平和・教育テーマとした本文題材に、グローバル教育の視点や SDGs を絡めるように設定した。CLIL (内容言語統合型学習) で、気づきを促すとともに、戦争と平和、教育、貧困といった深い題材を他者と関わりながら、深く思考し、思考力や判断力または表現力の伸長を図ることをねらいとしている。とくに、国際文化科の生徒には、世界の諸問題への意識を高めさせたい。 【生徒観】 本学級は、男子 9 名、女子 31 名の構成である。英語の学習に関しては積極的な姿勢が見て取れ、授業内での発言やペアワークなどの活動も活発である。発問に対する反応もよい。しかし、社会課題への関心が低い生徒も見受けられる。 【指導観】 本文のルアンダの学校設立後の動画やアフリカの中でも最貧困国と呼ばれる「モザンビーク」の学校の写真や映像を提示し、教育と平和、教育の意義について考えさせる。 〔SDGs〕 1. 貧困をなくそう 4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう 16. 平和と公正をすべての人に		
5. 単元計画（全 7 時間） 総合的な学習の時間、(教科) 英語			
時	『小単元名』・学習のねらい	学習活動	資料など
1 総合	SDGs とは何だろう	SDGs ゴールマッピングを使い、興味・関心のあるゴールをマッピングし、グループで話し合う。インターネットや書籍を使って、調べ学習をする。書籍リストを活用する。	資料 A SDGs 図書館書籍一覧
2 ～ 3 総合	世界を知ろう	JICA 海外協力隊員が活躍されている国をペアで調べ（文化・歴史等）、お互いに話しあう。	
4 ～ 5 総合	アフリカ モザンビークについて知る	モザンビークについてのクイズ （アフリカの衣食住） 蜂蜜・チョコレート・コーヒー試食 フェアトレードについて学ぶ。	資料 B
6 本時 英語	平和を構築するための教育の重要性について	国内外の社会問題に関心を高めつつ、学校や教育の意義について考える。	
7 英語	What can you do to make the world better? Take an action!	今なお、争いや紛争が絶え間ないが、その根本にあるものを考え、自分たちができることをグループで話しあう。 ・英作文課題 What does school give you in your life? ・Onigiri アクション 2023 計画	資料 C

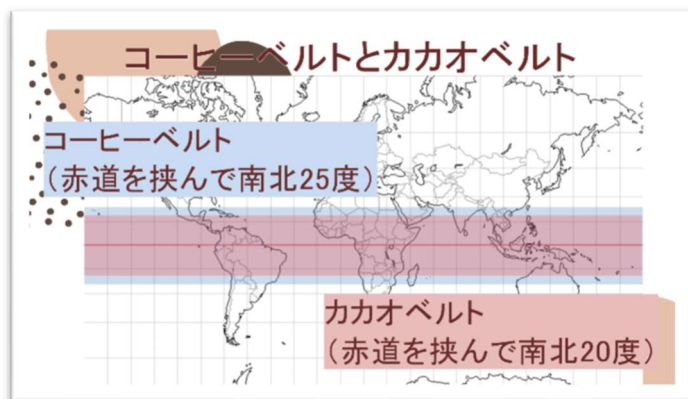
資料A「SDGs（持続可能な開発のためのグローバル目標）」を考えるための本

掲載図書はすべて本校図書館で所蔵						
番号	目標	No.	書名	著者名	備考	
目標1	貧困をなくそう	1	① どんとこい、貧困！	湯浅 誠	よりみちパン！セ	
		2	② 世界最貧民の目線 絶対貧困	石井 光太	光文社	
		3	③ 日本の大課題 子どもの貧困	池上 彰	ちくま新書	
		4	④ 世界から貧しさをなくす30の方法	田中 優 ほか	合同出版	
		5	⑤ 子どもの貧困と食格差	阿部 彩	大月書店	
		6	⑥ 「なんとかする」子どもの貧困	湯浅 誠	角川新書	
		7	⑦ 世界の女性問題 ①貧困、教育、保健	関橋 眞里	汐文社	
		8	⑧ 幸せとますしさを教室	石井 光太	少年写真新聞社	
目標4	質の高い教育をみんなに	21	① カラー難民キャンプの子どもたち	田沼 武能	岩波新書	
		22	② 教育で平和をつくる	小松 太郎	岩波ジュニア新書	
		23	③ 学校の世界地図	藤田千枝 小川真理子	くらべてわかる世界地図	
		24	④ もしも学校に行けたら	後藤 健二	汐文社	
		25	⑤ 教育格差 シリーズ格差を考える②	稲葉 茂勝	ほるぷ出版	
		26	⑥ 子どもの貧困と教育機会の不平等	鷹 咲子	明石書店	
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	27	① Because I am a Girl わたしは女の子だから	角田 光代	英治出版	
		28	② わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。	プラン・ジャパン	合同出版	
		29	③ 世界の女性問題 ①貧困、教育、保健	関橋眞里 プラン・ジャパン	汐文社	
		30	④ 世界の女性問題 ②暴力、差別、戦争	関橋眞里 プラン・ジャパン	汐文社	
		31	⑤ 世界の女性問題 ③政治、仕事、ジェンダー	関橋眞里 プラン・ジャパン	汐文社	
		32	⑥ 新版 女性の権利 ハンドブック女性差別撤廃条約	赤松 良子	岩波ジュニア新書	
		33	⑦ 砂漠の女ディリー	ワリス・ディリー	草思社	
目標10	人や国の不平等をなくそう	67	多文化共生のためのテキストブック	松尾 知明	明石書店	
		68	② 多文化共生のための異文化コミュニケーション	原沢 伊都夫	明石書店	
		69	③ 格差の世界地図	ベン・クロー スーレッシュ・K・ローダ	丸善	
		70	④ ハンセン病を生きて きみたちに伝えたいこと	伊波 敏男	岩波ジュニア新書	
		71	⑤ <超・多国籍学校>は今日にもぎやか！多文化共生ってなんだろう	菊池 聡	岩波ジュニア新書	
		72	⑥ 18歳からの格差論	井出 英策	東洋経済	
		73	⑦ 不平等を考える	齋藤 純一	ちくま新書	
		74	⑧ トクヴィル 平等と不平等の理論家	宇野 重規	講談社	
		75	⑨ 中東から世界が見える イラク紛争から「アラブの春」へ	酒井 啓子	岩波ジュニア新書	
		76	⑩ 夢へ翔けて 戦争孤児から世界的バレリーナへ	ミケーラ・デプリン	ポプラ社	
		77	⑪ マラス 暴力に支配される少年たち	工藤 律子	集英社	
		78	⑫ 橋の下ゴールド スラムに生きるということ	マリリン・グティエ	高文研	
		79	⑬ みんなのチャンス ぼくと路上の4億人の子ども	石井 光太	少年写真新聞社	
目標16	平和で公正をすべての人に	101	① いま平和とは	最上 敏樹	岩波新書	
		102	② ぼくが見てきた戦争と平和	長倉 洋海	バジリコ	
		103	③ 教育で平和をつくる	小松 太郎	岩波ジュニア新書	
		104	④ はじめて学ぶ異文化コミュニケーション	石井 敏	有斐閣	
		105	⑤ 対話する社会へ	暉峻 淑子	岩波新書	
		106	⑥ 紛争・対立・暴力	西崎文子 武内進一	岩波ジュニア新書	
		107	⑦ 戦争とは何だろうか	西谷 修	ちくまプリマー新書	
		108	⑧ 14歳からの戦争のリアル	雨宮 処凛	河出書房新社	



資料 B

アフリカについて知る



アフリカ=貧しい？

- ・アフリカ全土のGDP=日本の20分の1
- ・豊富な天然資源や生産物があるのに、正しいお金の流れができていない
- ・貧しいままの悪循環
- ・カカオ農園
 - ーカカオ生産の知識や技術も持っていないために、カカオの収穫量が十分得られず、家族全員の生活を支えるだけの収入も得られない
 - ー児童労働などの問題

できることを考えよう！



資料 C おにぎり Action 2023

ONIGIRI ACTION

おにぎりいただきます
& 写真撮影

写真をサイトに投稿
または #OnigiriAction を付けて
SNS で投稿

THANK YOU!

TABLE FOR TWO を通じて
アフリカ・アジアの
子どもたちに給食が届く



6. 本時の展開（6時間目） 本時のねらい： ・本文の内容を理解し、教育の意義・大切さについて意見を述べることができる。（SDGs 4） ・本文の平和へのメッセージを通して、自分が今できることは何かを考える。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (10分)	・前回学んだ内容の振り返り What do you think is good about Japanese school? ・本文の内容から教育が平和の鍵になるというメッセージを読み取る。	◇助言をするなどし、積極的な発言を促す。 ◇学校に通えることが「当たり前」ではないことに気づかせる。	(資料1) パワーポイント
展開 (5分)	教育の大切さを知る	◇教育問題に関心を持てるように教材を提示する。	チョムウイーザ学園 動画（ルワンダの教育を考える会）
(15分)	ルワンダの小学校の動画 ・ルワンダに学校が建設された後の子供達の変容について考える。	◆ペア/グループで、協働して内容理解に努めようとしているか。	(資料2) 動画・写真
(15分)	モザンビークの算数の授業の動画 ・発展途上国の教育課題に理解を深める。（識字や計算・施設・教育の質） 発問: If you cannot read, what difficulties would you face? ～振り返りと気づきの共有～ ペア・グループ 発問: What is the most important to build a peaceful nation? (ダイヤモンドランキング) ・発展途上国、先進国の立場で並べる。 ～振り返りと気づきの共有～ ペア・グループ	◇識字とは生きることと直結することに気づかせる。 ◇多くの意見をクラスで共有できるよう、注意して机間巡視を行う。 ◇立場によってものの見方が変わってくることに気づかせる。意見をクラスで共有できるようにする。	(資料3) ダイヤモンド ランキング
まとめ (5分)	JICA 海外協力隊員の写真 What can you do to make the world better? ・授業全体の振り返り、次回の予告。	◇気づきや考えをワークシートへ記入するように、促す。	(資料4) JICA 海外協力隊員 モザンビーク派遣の方々の活躍写真

7. 本時の振り返り

平和の構築に何が大切か「What is the most important to build a peaceful nation?」という問いに対し、国や立場などによって答えが、違ってくるのではないかと生徒自ら気づくことができていた。話し合いがまとまらず、ランキングの結論を出せずにいたグループもあった。したがって次の授業では、振り返りの時間を十分とり、学びを深めたい。

8. 学習方法及び外部との連携

- ・SDGs 講座：SDGs とは～自分事としてできること～

ふくしま SDGs ネットワーク 講師 今村 稔 氏

- ・国際理解講座：ルワンダの悲劇から学んだこと

NPO 法人 ルワンダの教育を考える会 講師 永遠瑠マリールイズ 氏

- ・JICA 出前講座：難民に関するワークショップ

JICA（郡山デスク）講師 国際協力推進員 室井研一 氏

- ・モザンビークオンライン交流

JICA 海外協力隊（モザンビーク派遣） 金田 将裕 氏

今後も外部からの専門家や国際機関の関係者などから学ぶ場を設けることで、学校を開かれた場にしていきたい。

9. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組み

- ・アフリカンブックカフェ

アフリカの絵本を使ったブックトーク

1回 文化編

食べ物・衣服・言語・伝統

2回 歴史編

アフリカの歴史、奴隷



アフリカの多様な文化や自然環境、日々の生活に思いを巡らすブックトークを行った。また、アフリカに関するゲームや民族衣装の試着会を同時に実施した。生徒だけでなく教員の参加や協力もあり、学校全体で国際理解教育が図れた。

- ・全校でのチャリティーイベントの実施

ルワンダのコーヒー等の販売

- ・アフリカに関する書籍や写真展示

（図書室）



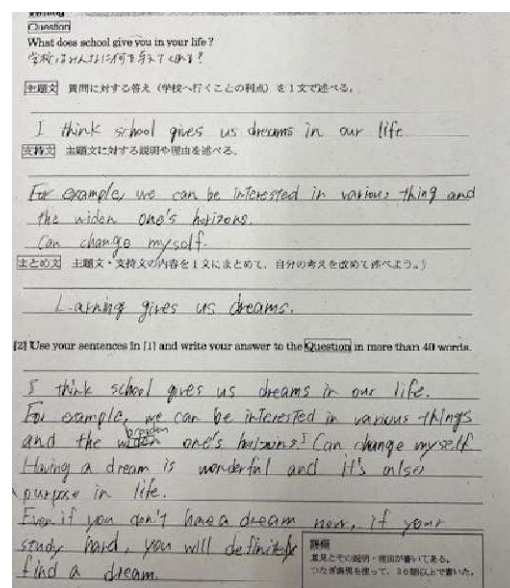
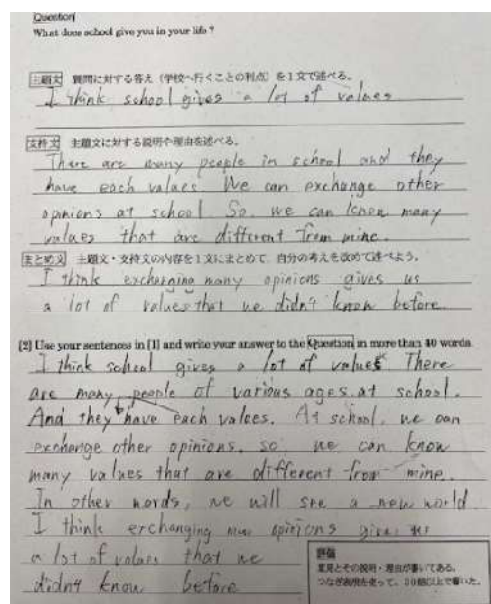
【自己評価】

10. 成果	実際の写真や動画を使うことで、生徒の関心や興味が高まっているのを感じた。「平和の構築には教育が重要である」という本文のメッセージを生徒が深く理解し、学ぶことの意義を考えることができた。また、ダイヤモンドランキングを通して、「平和の構築のためには、何を重要視するべきか」という明確な答えのない問いに対して、協働的かつ主体的に取り組む姿が見られた。社会問題を多角的に、国際的な視野を持って、考える力を養う一歩になった。
11. 課題	地理的にも心理的にも遠い国について、自分事として捉えられるように、今回はアフリカへの異文化理解から始めた。まだまだアフリカへの理解は不足しているもののアフリカへの関心は確実に高まっている。今後、発展途上国の問題を他人事ではなく、地球全体の問題として関心を持って、受け止められるように、持続的に国際理解教育を続けていくことが課題である。 まずは、本校のスクールビジョンのもと、教科等横断型で授業に取り入れたり、学校行事や委員会活動などにも組み込んだりと、様々な場面での学びがつながるように計画していく必要がある。そして、資料収集、発表・発信、課題解決といった生徒のアクションプランに、先生方の専門性をいかしてもらい、より生徒の資質や能力を高めることにつなげていきたい。
12. 改善点	・国際理解教育を通して、身につけさせたい資質・能力について学校全体で共通理解がより必要である。 ・社会の課題を「知る・調べる・発表する」だけで、実際に自分事としてとらえて行動する段階までに至っていない。
13. 学びの軌跡	生徒のアフリカのイメージは、「貧しい、危険」「サバンナ、野生動物」などであったが、異文化理解、国際理解教育を通して少しずつ変容を見せている。 英語の授業：一部抜粋（要約あり） ○学校に通うことができたなら、発展途上国の子供達ができることは何か。 School children have () for the future. 英文の () を埋めて自分の考えを表現した。 dream, hope, happy family, plan, happiness, money, knowledge, skills, good friends 等、さまざまな答えが生徒から出され、発展途上国における学校の意義について考え、自分の意見を述べることができていた。 ○What is the key to the Peace? (平和構築に大切なことは何か) ダイヤモンドランキング（優先順位）を実施した感想 ・「強力な政府」をモザンビークの人達が上位にあげていたことに驚いた。 優先する理由を考えることで、発展途上国の現状を理解できたように思う。 ・日本は資源が乏しいので、エネルギー問題や環境問題に関心を持ちがちだが、そういったことを優先している国ばかりではないと思った。 ・日本で当たり前前に保障されていることが、発展途上国では当たり前ではないとあらためて、ランキング結果から感じた。 ・日本人には発展途上国の受け止め方が予測できない。 ・国際支援の優先すべき内容を考えるきっかけになった。

○What does school give you in your life? (英作文課題)

学校の意義について自分の意見を英語で表現することができた。

支持文 (説明・理由)、まとめ文 (自分の考え)



総合的な探究の時間：学習活動についての生徒の自由記述の感想（一部抜粋）

- ・アフリカへのイメージが変わった。将来、アフリカへ行ってみたい。
- ・アフリカのはちみつは、色が濃くて味も強かった。五感でアフリカを感じることができた。
- ・JICA 海外協力隊員さんからモザンビークで流行している曲やファッションを紹介してもらって新しい発見があった。違いだけでなく、似ているところもあると思った。
- ・日本の教育制度の良さを海外で参考にしていると知って驚いた。
- ・コーヒーやチョコレートだけでなく身近にアフリカから来ているものがあることを知った。
- ・フェアトレード商品がスーパーで目に入るようになった。
- ・福島市のフェアトレードの店をまとめた冊子をつくりたい。
- ・アフリカ布がかわいい。アフリカ布でコースターやしおりを作って楽しかった。
- ・レアメタルのような資源問題、環境保護問題について考えるようになった。
- ・国際支援で活躍されている人の話を聞いて、将来は国際協力の仕事に就きたいと思った。

14. 授業者による
自由記述

モザンビーク海外研修での経験をいかし、生徒に自分を見つめ直し、幸せとは何かを深く考えるきっかけになる授業ができた。「自分の当たり前が、当たり前ではない」そんな違いに触れることが、視野を広げ、多様性を尊重する気持ちにつながると、目の前の生徒たちに伝えていきたい。

参考資料：

永遠瑠 マリールイズ「空を見上げてールワンダの内戦 そして希望ー」

中地 フキコ「ルワンダに教育の種を 内戦を生き抜いた女性・マリールイズの物語」かもがわ出版

本 時 使用資料：

資料1 平和の鍵は何か、学校の意義とは何かを問う。

What is the key to the Peace?

When education can create peace in a village,
then it can also build **a peaceful nation**.

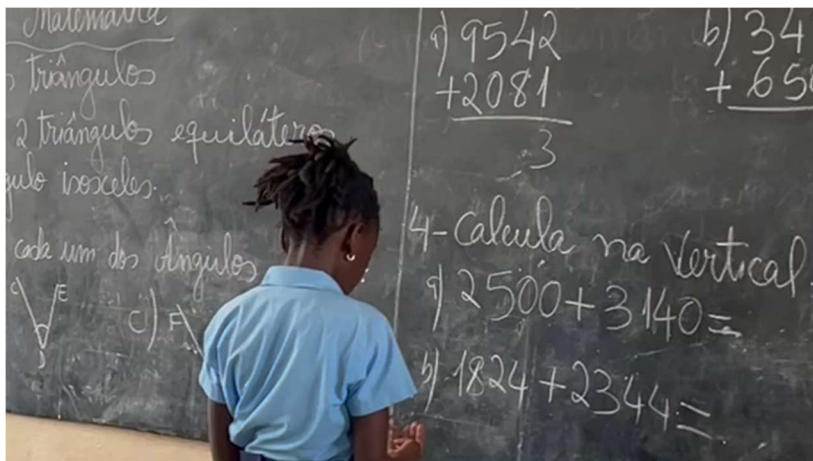
Louise established **a school** for children in
Rwanda.
Now, school children have() for the future.



資料2 モザンビークの学校の様子（動画・写真）



算数の授業 計算で繰り上がりに苦労している様子の動画



Reading/Writing skills 4. 9%
Math 7. 7% 3rd years level

資料3 「平和な国を構築するためには何を優先するか」

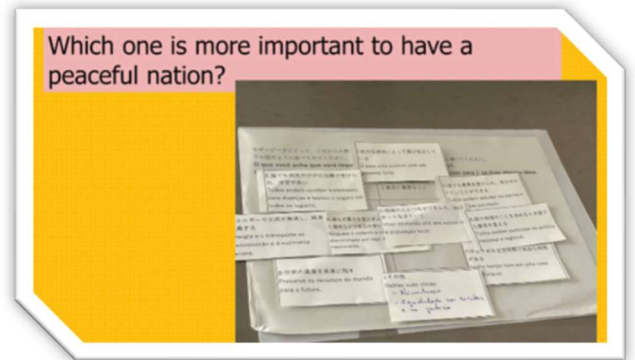
ダイヤモンドランキングに取り組む様子

Which one is more important to have a peaceful nation?



- A. Politics B Resources
- C. Energy D Helping each other
- E Public security
- F Free time
- G Education
- H No violence, discrimination
- I strong government





モザンビークの先生方が考えた優先順位と自分たちが考えた順位を比較し、平和の構築に必要なことについて意見を出し合った。

出典：「豊かさと開発」（2016）．特定非営利活動法人 開発教育協会
「何のための開発？」ダイヤモンドランキング

資料4 JICA 海外協力隊の紹介

国際支援について考える生徒の様子



（JICA 海外協力隊の写真）

教育支援



経営支援

